

数理科学に関するgPBL(芝浦工業大学大宮キャンパス)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年11月06日 ～2022年11月13日	日本	スラバヤ工科大学 マラ工科大学	・数理科学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生17名、学生バイト5名、 教員4名、職員1名 (スラバヤ工科大学) 学生20名、教員2名 (マラ工科大学) 学生5名	井戸川 知之(数理科学科)、 清水 健一(数理科学科)、 サイ 貴生(数理科学科)、 中津 智則(数理科学科)



図1 最終発表会

2022年11月6日～13日に本学大宮キャンパスにて global PBL (Project Based Learning) を実施した。本学(SIT)17名、スラバヤ工科大(ITS)20名、マラ工科大(UiTM)5名の計42名の参加学生に対し、本学教員4名、TA 5名、ITS教員2名が指導・支援にあたった。gPBLの活動として、学生は6班に分かれ、教員から提示されたテーマ(SITから2件、ITSから2件)の一つを選び、それに沿った具体的な目標(プロジェクト)を班ごとに立てて数理科学的手法で問題の定式化・解決を目指した。連日のグループワーク、中間報告を経て、最終日には結果報告を行った。3か国の学生が協同してプロジェクトに取り組むことで様々な学びがあり有意義な活動となったと考えている。グループワークの合間には、豊洲・大宮キャンパスツアー、日本文化体験、外部施設(日本科学未来館)見学も行い、日本の文化・技術の一端に触れてもらうとともに、国際交流を促した。グループワークに加え、歓迎昼食会、送別会でも学生どうしの交流があり、友好が深まったようである。本学科書記や国際部の支援もあって各活動はスムーズに進み、本gPBLは成功裏に終了したものと考えている。



図2 大宮キャンパスツアー



図3 グループワーク